

# 交通 評論



3月18日に福島第一原発で停電が起こり冷却水が一時停止した。配電盤に入り込んだネズミがその原因であったことが2日後に発表されたが、これを聞いてま

ず思い出したのが、昨年夏の富士山観測中の停電である。

昨年8月15日の夜半、富士山測候所でオキシダントやエアロゾル、宇宙線などの観測中に突然電源が落ちた。当時山頂の天気は安定して雷もなく、配線の異常もなく原因がわからな

い。そのままに朝を迎え、山麓の配電盤を点検したところ2匹のネズミが死んでおり、ショートしていたことが分かった。

結局、この事故では12時問のデータの欠損で済んだ

が、山頂に滞在して観測していた研究者たちは、配電盤の突発事故は、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

は、一時、観測の継続の心配をした。観測用電源は雷を予想してバックアップを準備しているが、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が増えているといわれる電線を張り巡らしたりして、汚染地域の野生動物の生態系の変化、放射性物質の濃度などについてはほとんど調べられていない現状ではないか。

## 配電盤のネズミ

土器屋 由紀子

このグループには獣医学の専門家もいて、昨年未捕獲したイノシシの解剖と放射性セシウムを調べたところ、筋肉に多く、肝臓や胃など臓器も、胃の内臓も低い値を示した。殺処分を逃れて野生化した牛についても筋肉に放射性セシウムが濃縮されることが知られる。

2011年(平成23年)3月以来、人が住めなくなった地域では、ネズミ、モグラ、イタチなどの小動物、イノシシ、猿、クマなどが増えている。イノシシによる被害は中山間地では大半の

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

が、山麓の配電盤の突発事故が、山麓の配電盤の突発事故

(江戸川大学名誉教授)